

平成 30 年 12 月 1 日

## 眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

**研究課題名** 未熟児網膜症に関する後ろ向き観察研究

**研究責任者** 奈良県立医科大学 眼科 緒方 奈保子  
(共同研究機関)

滋賀医科大学

兵庫医科大学

久留米大学

徳島大学附属病院

市立札幌病院 (担当：木下 貴正)

### 研究の目的

未熟児網膜症は、網膜血管の発達障害による網膜虚血(血液の供給が不足する状態)が原因で発症し、進行すれば網膜剥離を生じ、失明につながる疾患です。未熟児網膜症に対する治療法としては、網膜光凝固術(レーザー治療)が標準治療ですが、最近では薬剤を眼(硝子体腔)に注射する治療も行われています。未熟児網膜症の既往のある眼の網膜構造や視力、屈折(近視や遠視の度数)の経過について治療を行った症例と行わなかった症例で比較検討することにより、今後の診療に役立てることを目的とします。

#### 1 対象となる患者さん

2012年4月1日から2019年12月31日までに当院眼科で未熟児網膜症と診断され、経過観察された方。

#### 2 利用するカルテ情報

年齢、性別、視力、眼圧、病型、出生時週数、体重、治療方法、網膜厚、脈絡膜厚などを調査します。

### 個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目  
市立札幌病院眼科